

科目名	担当者名	変更内容		
電気・電子回路	井上健司	【授業計画】・日程	変更前	第9週 中間試験とまとめ、第15週 期末試験とまとめ
		【成績の評価】・方法	変更後	第6週 ラブラス変換を用いた過渡応答の解析、第15週 課題の解答と解説
			変更前	中間試験(50点)と期末試験(50点)の合計100点で成績評価
基礎材料力学及び演習	黒田	【授業計画】・日程	変更前	本科目では力学の基礎事項の応用方法を学ぶ。1回90分の講義(毎回演習付き)を行う。1時間程度の学習を想定した自宅学習用の課題がある(毎回)。講義資料(PDF形式)の配布、課題の提出は全てWebClass上で行う。
		【成績の評価】・方法	変更後	毎回の講義を、WebClass上に掲載する詳細な資料による各自の学習に置き換える。課題に関しては変更なし。
			変更前	レポート10%、中間試験45%、期末試験45%の重みで評価する。合格基準は合計で得点率60%以上とする。
材料力学I	黒田	【授業計画】・日程	変更前	本科目では力学の基礎事項の応用方法を学ぶ。1回90分の講義(毎回演習付き)を行う。1時間程度の学習を想定した自宅学習用の課題がある(毎回)。講義資料(PDF形式)の配布、課題の提出は全てWebClass上で行う。
		【成績の評価】・方法	変更後	毎回の講義を、WebClass上に掲載する詳細な資料による各自の学習に置き換える。課題に関しては変更なし。
			変更前	レポート10%、中間試験45%、期末試験45%の重みで評価する。合格基準は合計で得点率60%以上とする。
計算力学	黒田	【授業計画】・日程	変更前	「授業概要(目標)」に掲げた項目のうち、(1)～(3)は講義形式で板書による説明と理論的内容に対する演習・レポート課題が中心。(4)と(5)については情報センターを利用して、講義と演習を合わせて行う。90分×15回にわたり講義と演習を組み合わせて授業を行う。担当者オリジナルのテキストを使用する。オンライン学習システムWebClassを使用。資料の配布、課題の提出は全てWebClass上で行う。
		【成績の評価】・方法	変更後	講義を、WebClass上に掲載する詳細な資料による各自の学習に置き換える。情報センターを利用した講義と演習はWebClass上の掲載する資料を活用した各自の学習に置き換える。
			変更前	期末に行う筆記試験(50%)とレポートとしての提出物(50%)に対する評価のうちの60%以上を得点することが単位認定の要件である。
学部導入セミナー	村松・幕田	【授業計画】・日程	変更前	第15週 筆記試験および総まとめ
		【成績の評価】・方法	変更後	第15週 レポートおよび総まとめ
			変更前	「ものづくり基礎力講座」のレポートを40点、製図課題提出と筆記試験成績を60点/合計100点満点
機械工学基礎 I	村松・村澤	【授業計画】・日程	変更前	第7週 中間テスト、第14週 期末テスト
		【成績の評価】・方法	変更後	第7週 レポート(1)、第14週 レポート(2)
			変更前	複数回のレポート課題を20点分、二回の試験を80点分/合計100点満点
制御工学	村松	【授業計画】・日程	変更前	第15週 期末試験と総まとめ
		【成績の評価】・方法	変更後	第15週 期末レポートと総まとめ
			変更前	演習・レポート20点満点、期末試験80点満点/合計100点満点
機械計測法	奥山	【授業計画】・日程	変更前	第5週 試験(1)と解説、第10週 試験(2)と解説、第15週 試験と解説
		【成績の評価】・方法	変更後	第5週 課題(1)と解説、第10週 課題(2)と解説、第15週 課題(3)と解説
			変更前	レポート(30点)/試験(3回)(それぞれ30点、20点、20点)/合計100点満点
材料科学	上原・久米	【授業計画】・授業の方法	変更前	主に指定したテキスト等に沿って、90分の講義を計15回行う。
		【授業計画】・日程	変更後	Webclassで行う
			変更前	第8週 ここまでのまとめと中間試験 第15週 まとめと期末試験
工業数学	上原	【授業計画】・授業の方法	変更前	90分の講義を15回行う。教科書に基づいた講義形式の授業である。
		【授業計画】・日程	変更後	Webclassで行う
			変更前	第8週 ここまでのまとめと中間試験 第15週 最後の解説と期末試験
材料システム学特論	上原	【授業計画】・日程	変更前	第8週 材料システムに関する筆記試験 第9週～第15週:材料系の計算機シミュレーション(理論、解説、プログラミング演習、および発表)
		【成績の評価】・方法	変更後	第8週 材料システムに関するレポート課題の提出と解説 第9週～第15週:材料系の計算機シミュレーション(理論、解説、プログラミング演習、およびプログラムリストとレポートの提出)
			変更前	100点満点のうち、材料システムに関する筆記試験を50点、計算機シミュレーションに関する発表およびレポートを50点とし、合計点が60点以上を合格とする。
基礎熱力学及び演習	赤松	【授業計画】	変更前	第7回 中間試験及び解説、第15回 期末試験とまとめ
		【成績の評価】	変更後	第7回 課題及び解説、第15回 課題とまとめ
			変更前	中間試験(30点)および期末試験(70点)を合計し、60点以上を合格とする。
伝熱工学	赤松	【授業計画】	変更前	第7回 中間試験及び解説、第15回 期末試験とまとめ
		【成績の評価】	変更後	第7回 課題及び解説、第15回 課題とまとめ
			変更前	中間試験(30点)および期末試験(70点)を合計し、60点以上を合格とする。
機械工作実習	大町	【授業計画】・授業の方法	変更前	1回180分の講義及び演習を15週にわたり行う(予備週を含む)。
		【成績の評価】・方法	変更後	1回180分の講義及び演習15週に相当する遠隔授業を実施する。
			変更前	事前に、安全管理および計測技術の基礎についての講義を含むガイダンスを実施するので必ず受けること。授業は各部門を2週ずつ全7部門を実施する。実習内容は、機械工作の基礎に関する講義と実技実習から成る。各部門において実習後にレポートの提出を課す。
			変更後	事前に、安全管理および計測技術の基礎についての講義を含むガイダンス資料をWebClassにて示すので、必ず読むこと。授業は全7部門を実施する。各部門において実習後にレポートの提出を課す。
			変更前	第1～14週:以下の各部門を2週ずつ実施する。
【学習の方法】・受講のあり方	追加記載	以下7部門をWebClassにて実施する。なお、順番は班によって異なる。 今期は出欠確認しない。		
【成績の評価】・方法	変更前	各部門ごとに提出されたレポートの内容を60点分に評価する(学習・教育到達目標G)。各部門ごとの実習実技の取り組み内容を40点分に評価する(学習・教育到達目標C、D、I)。		
変更後	各部門ごとに提出されたレポートの内容を100点分に評価する(学習・教育到達目標C、D、G、I)。			

テクニカルイングリッシュ	大町	【授業計画】・授業の方法	変更前	1回90分の授業を15週にわたりに行う。少人数(5人から6人)の班に分かれて、各班がひとつのテーマの英文の文献を用いて学習する。授業の終盤で文献に関するプレゼンテーションおよびディスカッションを英語で行う。
			変更後	1回90分15週に相当する授業を各テーマを担当する教員の指示に基づき実施する。少人数(5人から6人)の班に分かれて、各班がひとつのテーマの英文の文献を用いて学習する。
		【学習の方法】・受講のあり方	追加記載	今期は出欠を確認しない。
		【成績の評価】・基準	変更前	各自の担当分に関する報告内容、プレゼンテーションおよびレポートを採点票に基づき評価する。
			変更後	各自の担当分に関する報告内容およびレポートを採点票に基づき評価する。
		【成績の評価】・方法	変更前	実施した演習に関する報告、プレゼンテーションおよびレポートを総合して、採点票に基づいて100点満点で評価する。
			変更後	実施した演習に関する報告およびレポートを総合して、採点票に基づいて100点満点で評価する。
設計工学	大町	【授業計画】・授業の方法	変更前	1回90分の講義および演習を15週にわたって実施する。15週には2回の筆記試験を含む。
			変更後	1回90分の講義および演習15回分に相当する遠隔授業を実施する。報告書の提出で成績評価する。
		【授業計画】・日程	変更前	第1週～第2週 軸の設計 第3週～第6週 ねじ 第7週 中間試験とその解説 第8週～第11週 歯車 第12週～第14週 ころがり軸受け 第15週 期末試験とその解説
			変更後	第1回、第2回 軸の設計 第3回～第6回 ねじ 第7回～第10回 歯車 第11回～第13回 ころがり軸受け 以上の他に演習2回相当分を自習する。
		【成績の評価】・基準	変更前	2回の試験を行い、以下の事項を総合して60%が達成されたことが確認できたとき、合格基準を満たすものとする。
			変更後	複数回の報告書の提出について、以下の事項を総合して60%が達成されたことが確認できたとき、合格基準を満たすものとする。
【成績の評価】・方法	変更前	中間および期末試験をそれぞれ50点分とし、総合して100点満点のうち60点以上を合格とする。		
	変更後	提出された複数回の報告書を総合して100点満点のうち60点以上を合格とする。		
圧縮性流体工学	幕田	【授業計画】・日程	変更前	第8週 中間試験及び解説、第15週 期末試験及び解説
			変更後	第8週 中間レポート及び解説、第15週 期末レポート及び解説
		【成績の評価】・方法	変更前	中間試験(複数回のレポートも含む)40点および期末試験60点の合計100点により判定して成績を決める。出席回数数が3分の2未満の場合は単位を与えない。
			変更後	授業各回のレポートの小計40点、中間レポート30点、期末レポート30点の合計100点により判定して成績を決める。レポート提出回数数が3分の2未満の場合は単位を与えない。